緊急時の救命処置に強い助っ人
苫小牧歯科医師会からＡＥＤの寄贈

何らかの原因で心停止となり、心臓突然死と言われるものがあります。心停止には完全に心臓が止まった場合と心臓が小刻みに震えている状態のものがあり、後者については心臓の震えを電気ショックにより取り除く（除細動）ことが極めて有効であるとされています。万が一そのような事態になった時に大きな力を発揮する機器、それがＡＥＤ（自動対外式除細動器）です。このＡＥＤを住民の人達のために有効に使って頂きたいと４月14日に苫小牧歯科医師会（高橋康則会長）の歯科医師　牧田斗志夫さんと高松　譲さんが役場を訪れ、町に寄贈されました。牧田さんは、「ＡＥＤにより、救命された事例が多くあります。もしもの時、発生から時間が短い程助かる割合いが高くなります。ぜひ町民の方のために有効な施設に設置してください。また、町内４か所の歯科医院にも設置されているとのことです。町では現在、早来・追分両消防庁舎とせいこドームに設置されていることから、今回寄贈されたＡＥＤを温浴施設があり、町内外から多くの方に利用される〝ぬくもりの湯〟に設置しました※ＡＥＤは、２００４年７月から医療従事者以外の一般の方でも使用できるようになっています。なお、ＡＥＤは、音声ガイド機能付。

長年にわたる地域福祉増進の貢献が認められる
捧　忠さん
厚生労働大臣特別表彰受賞

長年にわたり民生委員・児童委員として地域福祉の増進に貢献したことが認められ、捧（ささげ）　忠さん（遠浅在住）が厚生労働大臣特別表彰を受賞しました。４月14日に役場において伝達式が行われ、瀧町長から捧さんに伝達されました。捧さんは、平成４年から平成19年までの15年間町内遠浅地区担当の民生委員・児童委員として要保護者の保護指導や地域住民の生活状況把握及び福祉事業への協力など多くの奉仕活動に従事してこられました。また、旧早来町の社会福祉協議会の役員や平成６年からは社協給食の運転ボランティアとして現在も従事されています。捧さんは「大臣表彰を受賞するとは思ってもいませんでした。最初は不安もありましたが、一生懸命やってきました。今日医療に関することなど難しい問題が多々ありますので、今の民生委員の方々も大変なご苦労だと思います。とにかく住民第一に頑張ってほしいです。」と話してくれました。

ピカピカの１年生に今年もクレヨンのプレゼント
～安平町民生委員協議会から町内各小学校へ～

安平町民生委員協議会（栗田昌卓会長）から新入学児童に渡してくださいと、４月１日に町内早来地区の早来・遠浅・富岡各小学校と４月３日には安平及び追分小学校にクレヨンがそれぞれ贈られました。この活動は、民生委員・児童委員のＰＲを含め、子どもたちがこれからも元気に明るく学校生活を送ってもらいたいという願いを込め、旧早来町民生委員協議会が５年前から実施していたもので、今年は昨年12月１日に追分、早来の民生委員協議会が合併したことにより、追分小学校にも贈られました。受け取った学校では「ありがたいですね、新学期が始まったらさっそく新入学児童に配ります。」とのことでした。みんな大事に使おうね。